

東北師範大学留学レポート 2017年12月、2018年1月分

総合理工学部 理工特別コース 数理分野

江角匠平

この2カ月は日が短くなるにつれて、寒さも厳しくなりました。寮の浴室はシャワーしかないのですが、当然お湯につかることはできませんが、たまにぬるいお湯しか出ないときがあります。対策として洗濯桶を買ってきて、共同キッチンで湯をためて足湯状態でシャワーを浴びたりもしました。寮の窓ガラスは二重になっていて、少しは防寒になっていると思いますが、窓の開閉するところから空気が漏れていて、テープでふさいだりしてもかなり寒いのです。ただ、スチーム暖房の効果が強いときは空気の漏れが気にならないほど暑くなり、気温の調整が大変です。でも、寒いよりはましです。

年末年始を中国で過ごすのはとても新鮮でした。まず、中国では日本ほどクリスマスが華やかではないと感じました。数学科のクラスメートに、クリスマスは特別何かするのかわかると聞いて、イヴにリンゴを食べるだけと言っていました。リンゴは中国語で苹果と書きます。しかし、クリスマスが近づくとスーパーではリンゴを平安果という名前で売ります。クリスマスイヴは中国語で平安夜といい、平安夜に平安果を食べるとするのが最近の過ごし方だそうです。個人的にはケーキとかイチゴとかを食べたかったのですが、郷に従えということでリンゴを食べました。

中国では旧暦の年末年始が重要なので、12月末はいつもと変わらない感じでした。年末年始の休みも30日から1日までだったのでゆっくりはできませんでした。しかも、期末テストが1月4日からあったのもあり、今までで一番忙しいお正月でした。テストは17日まで続けました。勉強面はかなり充実していたと思いますが、もう二度とこのような正月は過ごしたくないと思いました。

この2カ月はほぼキャンパスから出ていないので特に写真はありますが、雪が降った次の朝に撮った寮の前の写真①、②とキャンパス内の湖（写真③）を紹介します。

写真①



写真②



寮の前は 5 時台から働いている雪かきのおじさんたちのおかげで滑りにくくなっています。

写真③はキャンパス内の湖です。すでに凍っていて、その上に雪が積もっています。もう少し先に行くと、湖面にアイススケートリンクができています。今は春休みになったので、学生のほとんどは地元に戻っていて大学にはいませんが、小学低学年くらいの集団がアイススケートの練習をしていてにぎやかです。

写真③

